

第二小学校への提言

平成30年1月

坂 東

- ◆問題を抱えた生徒が多い学校であることは事実ですが、先生方の姿勢は真摯で、誠実に生徒に向き合っている様子がよくわかります。その問題をクラス担任のみならず、専科の先生や管理職も含めて協力して取り組んでいच्छることは、評価に値する点であろうと思います。

- ◆参観させて頂く折には、素の姿を見せて頂きありがとうございます。参観では、むしろ、いい面が際立ちました。いい授業をされている先生も多く、思わず引き込まれることも多くありました。また、教室の掲示も、クラスごとの工夫があつたり特徴が見られ、先生のご努力がよく見えます。各クラスで特徴を持たせながら、学年では統一されている点など、学年間でも先生方がきちんと共通認識をもって指導に当たられていることがよくわかりました。

- ◆教育週間での参観では、廊下に保護者があふれている姿は、ちょっと考えものですね。できるだけ、教室内に誘導するなり、廊下でおしゃべりをしないしてほしいなどの注意はあつてもいいかと思ひます。
その一因に、1クラスの人数の多さがあることは否定できない問題です。昨年2クラス⇒今年3クラスの学年が、落ち着いてきたとの評価がありますように、1クラスの人数に関しては、35人を超すことがないように教育委員会への働きかけがあつてもいいと思ひます。
問題を抱えた生徒が多い学校であるための教員の加配はすでにあるようですが、それだけでは不足であると言わざるを得ないと思ひます。
教室の後ろまで机がある状態は、参観で見えても気になります。
少人数制の導入に関しては、町独自の加配でもいいと思ひますので、気長に働きかけ続けて頂きたいです。

- ◆学校教育自己診断に関しては、学年の傾向を見たり、経年比較や、各教科の問題点を探る意味ではいいと思ひますが、数字に捕らわれることだけはないようお願いしておきたいです。例えば、「学校へ行くのが楽しい」は、80%を超えて年々上昇しているのは嬉しい限りですが、反対から見ると、20%近い子どもが楽しいわけではないと考えれば、決して楽観できない事態です。
設問によっては、むしろ、残りの数字の方が、考えるべき数字であるということ意識して指導に当たって頂きたいと思ひます。担任の先生には、そのあたりは見えていることと思ひますので学級指導に生かすべく活用してほしい。

- ◆全教科の基本となる国語教育に関しては、研究授業をされたり、朝の読書タイム、専任図書館司書さんの配置などでいい方向に向かってはいると思いますが、更に言えば、読書から発展して、文章を書く力をつけることや、1点を取り上げてディベートで意見をたたかわせるなどに進めば、より国語力がつくのではと思います。
また、家庭での読書習慣が、減ってきているのではないかと懸念するところです。ゲーム・スマホの小学生への普及も看過できない一因であろうと思いますが、家庭とも協力して読書好きな子を増やしてほしいです。読書から発達する想像力・創造力は、学習能力の向上に繋がるだけでなく、相手の気持ちを慮ることで、友人関係や大人との関わりにおいてもいい影響を及ぼすことは否定できません。
- ◆自尊意識が低い子どもが多い点も長年に亘り議論してきた点ですが、ほめことばのシャワーなど良い工夫は継続されているようですので、今後も継続をお願いしたいと思います。また、高学年になれば、他の人から自分のいいところを言ってもらうだけではなく、自分について考察する自己分析を学習するべきです。自分で、1日1回、自分を褒めることや、今日した良いことなどを自己認識することは、自尊意識の向上に繋がると思います。ぜひ、取り入れてほしいと思います。日本の子どもは、奥ゆかしすぎるころがあります。これからは、自己PRの時代です。
- ◆学校教育自己診断では、保護者も、概ね学校に理解を示す回答が多く安心しましたが、学校から保護者への情報発信は大切なものです。できる限り保護者の理解を得られるような、工夫された学校だよりや学年だよりなどの発信を望みます。保護者が学校応援団になるように学校と保護者のいい関係を継続できるように努力をお願いします。
- ◆学習面においても、地域力をしっかり活用されている様子は、今後も継続して頂きたい点です。絵本の読み聞かせや、英語などでは定着しつつありますが、今後、少人数での指導でより効果が得られるような算数などでも、地域力を活用できる方法を考えていってほしいと思います。地域力を活用するための制度は、いろいろ問題点もあるようですが、最も大切なことは、子どもにとって一番いいことは何であるかという1点です。子どもにとっていいことをしようという観点から、地域力のコーディネーターとして絆の存在は、発展的に継続することを望みます。
- ◆学童室の整備・プールの補修なども実施されており、施設面でもいい傾向であろうと考えます。但し、新マンションの建設に伴う生徒数増加などの実態は、早めに情報を得て、教室の不足がないような対策なども、早くから考えていってほしいと思います。

以上